

令和8年6月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者 17名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 国・県からの照会業務等の見える化と職員の負担軽減について	<p style="text-align: right;">3 番 佐藤 さやか</p> (1)本市では、国・県からの照会、調査、回答依頼、事務連絡等の件数を全庁的に把握しているのか伺う。また国・県ドメインからのメール受信数を、年度別・月平均・部署別に抽出することは可能なのか伺う。 (2)業務効率化や回答作成に要する職員の負担軽減、国・県への要望、庁内の情報共有フロー等、現在の取組状況を伺う。 (3)県では「コネミヤ」が導入されたが、それにより本市の業務がどのように改善されたのか伺う。 (4)照会等の受付、担当課、回答期限、進捗、過去の回答を庁内で一元管理する仕組みを構築すべき。 (5)国・県に対し、照会や調査の削減、様式の統一、回答期限の適正化、目的・重要度・活用方法の明確化、結果のフィードバックを求めるべき。	市長 市長 市長 市長 市長	
2	1 救急搬送の迅速化について 2 統合新病院に係る地域医療について 3 統合新病院に係る道路整備について 4 統合新病院に係る運営支援について	<p style="text-align: right;">20 番 熊谷 克彦</p> (1)過去3年分の救急搬送先の主な所在地及び平均病院収容所要時間について伺う。 (2)病院収容所要時間の短縮に向けた取組を伺う。 (3)新たな救急情報システムを導入し、デジタル化による傷病者情報伝達の効率化を図るなど、病院収容所要時間の短縮に取り組むべき。 (1)統合新病院とかかりつけ医との連携をどのように捉えているのか伺う。 (2)統合新病院では、医療、介護、福祉の各機関との連携を強化するとのことであるが、市も一定の役割を担うべき。 (1)統合新病院周辺の市道である植松北線、関下植松線、飯野坂杉ヶ袋線、鹿島猫塚線の整備状況と今後のスケジュールについて伺う。 (2)開院までに周辺道路を整備すべき。 (1)運営者である仙台赤十字病院から、毎年2億円の運営支援要請がなされるに至った経過及び算定内容について、どのように捉えているのか伺う。 (2)運営支援に当たっては、他自治体の公立病院に対する財政的負担状況を参考にすべきと考えるがどうか。 (3)名取亘理地区2市2町の総合南東北病院への支援の枠組みを参考にするとのことであるが、同病院への過去3年分の本市の運営支援額及び算定方法について伺う。 (4)名取亘理地区2市2町の統合新病院への運営支援に係る協議が整い次第、その内容を速やかに説明すべき。	消防長 消防長 消防長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
3	<p>1 感震ブレーカーの普及推進について</p> <p>2 学校教育体制について</p>	<p style="text-align: center;">1 番 阿部 正義</p> <p>(1) 国土強靱化年次計画2025では、地震時の電気に起因する火災の発生抑制のため、感震ブレーカーの普及を加速させる方針が示されたが、これまでの感震ブレーカー普及における本市の周知や取組の状況について伺う。</p> <p>(2) 市消防本部ホームページ等での周知においては、消防庁が配信している大規模地震時における電気火災対策の動画等を活用し、市民に感震ブレーカーの効果が具体的に伝わるよう取り組むべき。</p> <p>(3) 令和8年2月に消防庁から示された資料では、感震ブレーカーの普及にあっては、地震時において火災の延焼の危険性が高い木造密集市街地等を重点エリアとして設定することが適当であるといった見解がある。本市として具体的な設定を考えているのか伺う。</p> <p>(4) 感震ブレーカー設置の補助制度を設けている自治体がある。本市も取り組むべき。</p> <p>(1) 令和7年度、本市の一部の中学校でチーム担任制を試験的に実施したが、教職員の負担軽減や生徒の主体性向上など、効果について伺う。</p> <p>(2) チーム担任制において教職員の定数に余裕がないと効果が期待できないことや、責任の所在が明確でないといった不安面についての実態をどう捉えているのか伺う。</p> <p>(3) 本市の全ての小中義務教育学校でチーム担任制を導入すべき。</p>	<p>市 長 消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>市 長 消防長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
4	<p>1 令和8年3月21日に手倉田八幡地区で発生した火災への対応について</p>	<p style="text-align: center;">1 3 番 吉田 良</p> <p>(1) 出火原因の特定状況を伺う。</p> <p>(2) 火元と思われる薪ストーブについて、名取市火災予防条例上の位置づけを伺う。</p> <p>(3) 薪ストーブの煙害や危険性について、周囲の住民から苦情や相談等があった場合、どのように対応してきたのか伺う。</p> <p>(4) 薪ストーブの適切な管理及び使用等につながるよう、設置の届出を義務化すべき。</p> <p>(5) 入電から消火活動開始までに要した時間と、その間の経緯を伺う。</p> <p>(6) 市道八幡1号線の起点付近は緊急車両の通行が非常に困難な幅員である。市道認定の基準を満たしていないのではないか、見解を伺う。</p> <p>(7) 市道八幡1号線の起点及び終点付近にあるU字型車止めは消火活動に際し、いつ取り除かれたのか伺う。</p> <p>(8) 当該車止めが設置されていたために消防車両が火元近くまで進入できず、消火活動の開始までに時間を要したと推測されるが、見解を伺う。</p>	<p>消防長 消防長</p> <p>市 長 消防長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p> <p>市 長</p> <p>消防長</p> <p>消防長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		<p>(9)市が設置する車止め等を緊急時に速やかに取り外せるよう、市内全域の運用状況を確認すべき。</p> <p>(10)名取市災害被害者に対する市税の軽減又は免除等に関する条例の運用状況を伺う。</p> <p>(11)名取市災害被害者に対する市税の軽減又は免除等に関する条例第1条「当該年度分の軽減又は免除」について問題があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>(12)災害発生時期により救済に大きな差が生じないよう、減免の対象を災害発生年度分とする規定を改めるべき。</p> <p>(13)狭隘道路の奥に立地するまたは接道義務が満たされていない家屋が存在するなど、緊急車両の進入に支障があり、火災による延焼が起りやすい地域の把握状況を伺う。</p> <p>(14)火災による延焼が起りやすい地域を周知するための火災ハザードマップを作成、公表すべき。</p> <p>(15)火災の延焼を抑えるため、低層密集市街地における管理不全空家対策や区画整理を推進すべき。</p>	<p>市 長 消防長 市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 消防長</p> <p>消防長</p> <p>市 長</p>	
5	<p>1 木造住宅の耐震化について</p> <p>2 「生命（いのち）の安全教育」について</p>	<p style="text-align: center;">16番 菊地 忍</p> <p>(1)現在の木造住宅の耐震化率について伺う。</p> <p>(2)耐震診断、耐震改修工事が進まない理由をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(3)部分的に耐震化する工事や代理受領制度の導入など耐震化を促進する方策を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)市内の全小中義務教育学校において「生命（いのち）の安全教育」を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)性暴力や性的同意といったデリケートな分野を教えるに当たり、教員が戸惑うケースも少なくない。外部講師の活用や教員向けの研修の実施などに取り組むべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長 市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長 教育長</p>	
6	1 小学生の通学かばんについて	<p style="text-align: center;">8番 笹森 波</p> <p>(1)ランドセル以外の選択肢について、どのような対応を行っているのか伺う。</p> <p>(2)ランドセル症候群について、どのように捉えているのか伺う。また、ランドセルにより身体的・精神的に不調を来している児童がいるのか現状を伺う。</p> <p>(3)児童の健康を守るためにも、ランドセル症候群について学校のお便りや広報等で周知すべき。</p> <p>(4)保護者への経済的負担や児童への身体的負担などを考慮し、ランドセルリュックの利用など個人の選択を尊重すべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 児童生徒の情報モラル教育について	(1)情報モラル教育の現状と課題を伺う。 (2) SNS等の適切な利用について、学校ではどのような指導をしているのか伺う。また、児童生徒を対象とした意識調査などを行っているのか伺う。 (3)児童生徒、保護者及び教職員が高い当事者意識を持てるよう外部講師などを活用し、情報モラルについて学ぶ機会を設けるべき。	教育長 教育長 教育長	
7	1 道路交通法の一部改正に伴う自転車の安全対策について 2 小正月の伝統行事「どんと祭」における消防体制について	15番 長南 良彦 (1)令和8年4月から自転車等に対する交通反則通告制度が導入された。制度導入後の効果や課題をどのように捉えているのか伺う。 (2)市内の小中義務教育学校における令和7年度の自転車乗車中の事故の発生件数と傾向及び令和8年度の交通安全教育の実施状況を伺う。 (3)市内の中高生が自転車通学で利用する市道、県道沿いには「自転車歩道通行可」標識や道路標示のある歩道が点在している。現状をどのように認識しているのか伺う。 (4)改正道路交通法が施行される中、自転車利用者の環境整備が遅れている現状にある。通勤や通学など自転車利用者の多い路線の危険箇所を洗い出し、安全走行に必要な対策の整備を急ぐとともに、県警に「自転車歩道通行可」歩道路線の延伸と標識の増設を働きかけるべき。 (1)市内の「どんと祭」開催に必要な届出書の受理件数を伺う。 (2)「どんと祭」という地域特有の伝統行事に消防団員、小型動力ポンプ付積載車等を派遣する際の指導内容と注意点を伺う。 (3)「どんと祭」当日、消防署員、消防団幹部がそれぞれ行っている訪問巡回パトロール時の確認事項を伺う。 (4)「どんと祭」が各地区において安心安全に継続できるように、消防分団、団員のさらなる連携と初期消火体制の確立向上を図るべく指導を徹底すべき。	市長 教育長 教育長 市長 市長 消防長 消防長 消防長 消防長	
8	1 国際空港所在都市としてのアウトバウンド施策について	11番 大泉 徳子 (1)1人でも多くの市民が、仙台国際空港を利用し、海外へ渡航することにより東北の空の玄関口である名取を実感できるのではないかと考える。インバウンド推進と同様にアウトバウンド推進も図るべきと考えるがどうか。 (2)令和8年7月1日よりパスポート申請手数料が減額改定される。アウトバウンド推進策として仙台国際空港を利用する市民を対象に「パスポート取得助成金制度」を創設すべきと考えるがどうか。	市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(3)本市と台湾桃園市が締結した交流促進協定書には「人的交流の促進」が盛り込まれている。市民団体等が、まずは桃園市と積極的に交流を行えるよう、助成金等の交付などの活動支援策を講じるべき。	市 長	
9	1 防犯教育について	14番 大友 康信 (1)市内で発生した犯罪の件数と傾向をどのように捉えているのか伺う。また、防犯について、どのように対策や啓発を実施しているのか伺う。 (2)児童生徒の非行の傾向と、犯罪の件数及び傾向をどのように捉えているのか伺う。 (3)防犯意識の啓発と向上のため、小中義務教育学校ではどのような教育がなされているのか伺う。 (4)いわゆる「闇バイト」や「トクリュウ」に近づかない、犯罪に巻き込まれない、違法薬物の恐ろしさなどを児童生徒が理解することのできる教育について、より一層強化すべき。	市 長 教育長 教育長 教育長	
10	1 スポーツ推進委員制度について	9番 千葉 栄幸 (1)本市におけるスポーツ推進委員の法的根拠、定数及び現在の委員数、謝礼額とその設定根拠について伺う。 (2)スポーツ推進委員の年齢構成、男女比、地区別の配置割合、在籍期間の分布について伺う。 (3)委員名簿に記載のある競技種目の考え方及び専門性をどのように位置づけているのか伺う。また、委員の選考方法と選考基準について伺う。 (4)令和7年度のスポーツ推進委員の主な活動内容を伺う。また、会議・行事への出席回数及び最多・最小の出席回数について伺う。 (5)名取市スポーツ推進委員連絡協議会の制度上の位置づけ及び運営財源の内訳と、市が関与する範囲について伺う。 (6)現行のスポーツ推進委員制度及び委員の役割について、市としてどのような課題を認識しているのか伺う。 (7)地域スポーツを取り巻く環境が変化する中、スポーツ推進委員制度をより有効に機能させるためには、時代に即した委員の役割の明確化が必要であると考える。その上で、定数の在り方、謝礼額の水準、選考方法及び連絡協議会の運営体制について、総合的な見直しを行うべき。	教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長	
11	1 サイクルスポーツセンターの収支改善等に向けた取組について	4番 佐藤 繁樹 (1)現在の運営状況について伺う。 (2)現在把握している令和7年度の利用者数と収支の見込みについて伺う。 (3)収支改善に直結する利用者増加に向けた令和7年度と令和8年度の取組について伺う。	市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
		(4) 温泉・宿泊・飲食・スポーツと親和性のあるサウナをサイクルスポーツセンターに設置して、利用者増加による収支改善、市民の健康増進及び交流人口の増加を図るべき。	市 長	
1 2	1 県道美田園増田線と国道4号線及び市道下増田関下線交差点における渋滞対策について	<p style="text-align: center;">7 番 二階堂 充</p> <p>(1) 県道美田園増田線と国道4号線の交差点周辺では、平日は朝夕の通勤時間帯、土日祝日においては買物の時間帯に車の交通量が増え、渋滞が発生しているように見受けられるが、市では現状をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 今後増田西地区のまちづくりと並行して、市道大手町川上線が国道4号線へと続く市道大手町大通り線に接続して建設される。将来的な交通量に関してはどのように見込んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 過去において県道美田園増田線と国道4号線交差点の左折直進レーンの増設工事を行っているが、その効果を市としてどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(4) 周辺の渋滞緩和策として、市道大手町大通り線から続く県道美田園増田線と国道4号線の交差点に、左折専用レーンの新設と既存の右折レーンの延長などを行うよう、県に働きかけるべき。</p> <p>(5) 県道美田園増田線と市道下増田関下線の交差点においても右折レーンを延長し、渋滞緩和に取り組むよう県に働きかけるべき。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 3	1 家庭教育支援の現状と課題について	<p style="text-align: center;">1 7 番 小野寺 美穂</p> <p>(1) 現代において地方公共団体に求められる家庭教育支援について、どう捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 教育基本法第10条第2項にある必要な施策について、具体的に講じているものを伺う。</p> <p>(3) 本市でも設置している「家庭教育支援チーム」は令和5年度全国1,124か所になっている。それと同時に家庭教育支援における課題も指摘されているところだが、本市としてはその課題についてどう捉えているのか伺う。</p> <p>(4) 家庭教育支援のさらなる充実のために、民間団体との連携強化や専門的な知識・スキルを持つ支援員の確保に努めるべき。</p>	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長	
	2 ヤングケアラー支援条例の制定について	<p>(1) 昔の「手伝い」から「ヤングケアラー」という問題に変化している。その背景をどう捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 「手伝い」と「ヤングケアラー」の大きな違いは何だと考えているのか伺う。</p>	市 長 教育長 市 長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		<p>(3)ヤングケアラーの実態把握が困難である理由は予算づけ等、解決のための道筋が明確ではないという一面があると考え。市としてヤングケアラー救済が中長期的にはメリットになるという認識はあるのか伺う。</p> <p>(4)ヤングケアラー支援条例の制定により、当事者家庭に自覚を促すとともに、市民に対しては実態を広く周知し、ヤングケアラー支援を進めるべき。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>	
1 4	<p>1 A E Dについて</p> <p>2 低出生体重児への支援について</p>	<p style="text-align: center;">1 2 番 菅原 和子</p> <p>(1) A E Dの過去5年間の使用状況について年度ごとの件数を伺う。</p> <p>(2)公民館、文化会館、市民体育館及び小中義務教育学校に設置しているA E Dを緊急時に適切に使用するための講習会や訓練などについて、実施状況を伺う。</p> <p>(3)体育館、校庭との動線が長い学校や児童生徒の多い学校については、迅速な救急対応の観点からA E Dの複数台の設置を検討すべき。</p> <p>(4) A E D収納ボックス内に三角巾等を配備し、傷病者のプライバシーに配慮する取組が全国的に広がっている。本市でも取り組むべき。</p> <p>(1)本市の低出生体重児の過去3年間の人数について伺う。</p> <p>(2)新生児集中治療室等への入院が必要な乳児を持つ母親は、精神的、経済的に大きな負担を強いられている。低出生体重児の家族への搾乳機、母乳パックの購入費助成について取り組むべき。</p> <p>(3)新潟県新潟市では、低出生体重児とその保護者を対象に情報交換や親子ふれあい遊びなどを通じた交流、相談支援事業に取り組んでいる。本市でも取り組むべき。</p>	<p>消防長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
1 5	1 父親の育児におけるメンタルヘルス支援の強化について	<p style="text-align: center;">6 番 寺嶋 雅子</p> <p>(1)父親が、仕事と育児の両立や子供との関わり方への戸惑いから、孤立感や自己否定感を抱え、精神的不調を来す実態についての認識を伺う。</p> <p>(2)国立成育医療研究センターの調査では、生後1歳未満の子供の育児をする父親の精神的不調のリスクは母親とほぼ同水準であることが明らかになった。市ホームページ等で市民や企業にそのような実情を周知すべき。</p> <p>(3)父親同士が経験や悩みを共有できる交流型支援の拡充や父親の参加促進を図るため、オンライン講座、父親支援の視点も取り入れた両親学級を展開すべき。また、母子保健や子育ての相談の場に男性職員を配置し、父親が話しやすい環境を整えるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		<p>(4) 乳幼児健診問診票について、国立成育医療研究センターが示している父親支援マニュアルでは、父親も記入しやすい文言や項目が推奨されている。父親母親ともに記入することができる表現の見直しやパートナーの精神状態を確認する項目の追加を行うべき。</p> <p>(5) 新生児訪問や乳幼児健診などで、家庭の負担バランスについて啓発する機会を設けるべき。</p> <p>(6) 父親目線で作成した父子手帳を配付するとともにホームページに掲載し、先輩パパの体験談、父親の役割、夫婦の関係づくりなどを紹介する取組がある。本市でも取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
1 6	1 空き教室等の利活用と不登校・発達支援体制の充実について	<p style="text-align: center;">1 0 番 板橋 美保</p> <p>(1) 各学校における空き教室数と不登校児童生徒の現状について伺う。</p> <p>(2) 空き教室のある学校を拠点とした、不登校支援、通級指導及び教育相談などの機能を集約した支援策を導入すべき。</p> <p>(3) 児童発達支援施設と学校との情報連携等の現状を伺う。</p> <p>(4) 近隣大学と連携し、専門人材確保の仕組みを構築すべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長 教育長</p>	
1 7	1 ふるさと納税体験型返礼品について	<p style="text-align: center;">2 番 今野 慎介</p> <p>(1) 直近3年間のふるさと納税受入額において、体験型返礼品の寄附受入額の割合を伺う。</p> <p>(2) 現在のふるさと納税体験型返礼品をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(3) 本市の魅力を最大限アピールして寄附受入額を増加させるため、体験型返礼品のコンテンツを増やすべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	